

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

8

Aug 2020
No.305



ファミリーファーム

FAMILY FARM

家族三世代で守る
ブルーベリー

羽黒支所管内 鈴木 繁治さん(78)
繁和さん(52)
拓真さん(25)

(繁和さん) 父が約40年前にブルーベリー栽培を始め、現在は親子三世代で8.2haの農園を営んでいます。息子という頼もしい存在も加わり、3人で作業できることが嬉しく、やりがいにも繋がっています。ブルーベリーの他、水稲も栽培しており、毎年天候に左右される生育に悩みながらも、理想通りに収穫ができたときの喜びは何物にも代え難いものがあります。(拓真さん) 18歳で就農し、現在はブルーベリーの栽培管理を任されています。農園では、安心・安全な品質を提供するため、有機栽培を行っています。作業内容も覚えてきましたが、今後、生育状況に応じた栽培管理について、祖父と父から更に知識を教わっていきたくて考えています。お客様などに「ここの農園のブルーベリーはおいしい」と言ってもらえるよう、これからも向上心を持ち続け、今あるものを守っていきたくてです。

SHONOSEI TRY

庄農生トライ

農業に関われる楽しさ

食料科学科3年 青柳 万里奈さん 鶴岡市



私は農業をやってみたくてというチャレンジ精神で、庄内農業高等学校に入学しました。触れること全てが初めての体験で、農作物の成長は、播種から収穫までの管理作業などを通して私自身のことも成長させてくれました。

現在は、農業科目「課題研究」でトマト味噌を使用した芋煮を試作中です。今後、コンテストに応募し、最終的には自分たちが考えたスープを商品化することが目標です。試行錯誤しながらも最後までやり遂げられるよう頑張っています！

株式会社 あいサービス
新役員体制

株式会社あいとサービスが発足して6年が経過致しました。去る、6月26日開催の弊社株主総会並びに取締役会において役員改選を行い、下記の通り役員に就任致しました。つきましては、今後とも一層社業の発展に努力致す所存でございますので、何卒旧倍のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

鈴木 善一(新)
(JA庄内たがわ代表監事)
鶴岡市・丸岡川井 利光(新)
(JA庄内たがわ理事)
庄内町・古関菅原 勝(新)
(JA庄内たがわ代表理事専務)
鶴岡市・上山添代表取締役会長
太田 政士(新)
(JA庄内たがわ代表理事組合長)
庄内町・荒鍋佐藤 勝仁(再)
(JA庄内たがわ常勤監事)
庄内町・常万菊地 孝一(新)
(JA庄内たがわ理事)
三川町・成田新田海藤喜久男(新)
(JA庄内たがわ理事)
庄内町・下幅代表取締役社長
五十嵐 常勝(新)
鶴岡市・小国前監査役
坂 清一氏前取締役
阿部 一志氏前取締役
武田 富志氏前取締役
宮崎 重美氏前代表取締役社長
長南 進氏前代表取締役会長
黒井 徳夫氏

退任された方々

信用Q&A

ディーラーからのクルマの購入を考えています。
Q 「残価設定型クレジット」とJAの「マイカーローン」ではどちらがお得ですか？

A 「残価設定型クレジット」とは、購入金額のうち5~6割を「3~5年間の使用権」として指定の期間まで毎月安価でクルマに乗れる「定額支払方法」です。所要資金が少なくても、乗り始められるメリットがある一方で、クルマを使用する上で乗車距離など様々な制約があります。また、期間終了後も乗り続ける場合、通常のローンでの購入と比べ総支払額が大きくなってしまいます。

マイカーを制限なく自由にお使いになりたい方、5年、5万km以上お乗りになる方には、低金利でお得な

JAマイカーローンをおすすめします！！

なお、当JAホームページではネット事前審査（仮審査）が可能となっており、ネット事前審査で金利がお得になるキャンペーンも実施中ですので、是非ご利用ください。

詳しい商品内容、ご利用条件については、当JAホームページ、または各支所融資窓口までお気軽にお問い合わせください。

仮審査の
お申し込みは
こちらから

温海支所 0235-43-3411
新余目支所 0234-43-4422
立川支所 0234-56-2144
藤島支所 0235-64-5837
三川支所 0235-66-2795
羽黒支所 0235-62-2143
櫛引支所 0235-57-2993
朝日支所 0235-53-2512



夏に欠かせない逸品 庄内たがわ ちや豆

「庄内たがわちや豆」とは？

外見は茶色い産毛に覆われており普通の枝豆と比べて小ぶりですが、茹でると甘い芳醇な香りが広がります。主に、昼夜の寒暖差がある地域で栽培しており、有機質肥料を使用しているため、コクのある甘みと風味の良さが生まれ、その味わいは高い人気を博しています。

「誰が食べても美味しい枝豆」を目指して、枝豆部会の部会員50人が24haで栽培しています。風味を保つために収穫されたものは藤島地域の野菜集出荷所で迅速に氷水で冷やすなど、品質維持の徹底にもこだわっています。また、2019年には同集出荷所に粗選機を導入し、選別作業効率の向上・省力化が大幅に進みました。

同部会は、より美味しい庄内たがわちや豆を生産するため、鶴引地域たらのき代地区に独自で採種圃を設けています。同部会で生産する枝豆は、採種圃の種子を100%使用しており、味にバラツキのない高品質な枝豆の安定生産に努めています。2020年産は出荷量80t、販売額5,000万円を目標に、産直んめ農マルシェや関東・中京市場を中心に出荷していきます。



早生品種を栽培し、高単価販売を狙う

株あつみ農地保全組合では、枝豆が地元市場に出回る前（7月中旬頃）の高単価時期に収穫・出荷を目指しています。4月下旬頃から鶴岡市温海地域の温暖な気候下で播種作業を行うことで早期出荷が可能となります。また、休耕田を利用しながら、防除や葉面散布などの肥培管理の徹底で高収量・良食味を追究しています。

「庄内たがわちや豆」は産直んめ農マルシェのオンラインショップでも好評販売中です！詳しくはP10のInformationをご覧ください！

【んめ農マルシェ】

TEL：0235-25-6778

Email：sanchoku@ja-shonai.or.jp



団地化で一大産地の確立を きゅうり

J Aではきゅうりの団地化を進めています！

鶴岡市鶴引地域におけるきゅうり栽培は1965年頃から始まり、現在は庄内地方でも有数のきゅうり産地となっています。一方、同地域では近年の担い手不足などにより徐々に栽培規模の減少が見受けられています。

J Aでは、2018年から大規模集積団地を核としたきゅうり振興策の検討を進め、2020年から団地整備へ着手しております。団地におけるきゅうり栽培モデルとして、同一施設二期作採りによる生産量増加と、栽培管理の一部自動化による省力的栽培管理で所得向上を目指します。また、団地への作付者は栽培経験30年以上のベテラン農家に加え、新たにきゅうり栽培にチャレンジする農家もあり、栽培技術の積極的な情報交換と担い手拡大に期待が持てる取組みとなっております。

生産・販売をJ Aが全力サポート！

現在、J A管内では33人の生産者が約3haで栽培しており、2020年産は出荷量275t、販売額6,300万円を目標に取り組んでいます。J Aは、団地内のハウス1棟に園芸施設環境観測器（モニタリング機器）を設置して栽培環境を数値化し、「栽培の見える化」で生産者全体の栽培技術の高位平準化を目指しています。21年度には、鶴引支所の青果物集出荷所へ画像選果機の導入を予定しており、共同選果体制を強化することで、出荷調整に係る労力軽減と選果品質向上による販売力強化を図っていきます。

きゅうり生産者はもちろん、作付け希望者には園芸TACや園芸特産指導員、アグリアドバイザー（熟練生産者）などが安定生産と収量確保に向け指導・支援していきます。ご興味のある方は、営農販売部 園芸特産課までご相談ください。

TEL：0235-64-5831 Email：entoku@ja-shonai.or.jp



枝豆・市場価格は安定、品質を重視

枝豆部会は7月29日、羽黒支所で目ぞろえ会を開いた。参加した部会員約30人が出荷等級や調整方法などを確認。同JA産エダマメの市場価格は堅調に推移しており、今後も品質重視の栽培に努めていくこととした。今年産は全体的に病虫害は少ないものの、6月下旬からの日照量不足により生育遅延がみられることに加え、同月28日に発生した大雨の影響で川沿いの一部圃場で冠水被害が生じており、土壌の中耕・防除などの事後対策を徹底し、減収を最小限にするよう立て直しを図る。同部会では、出荷量80トン・販売高5000万円を目標に、地元をはじめ関東・関西市場などへ10月上旬まで出荷する予定。



庄内柿・生産振興へ女性の力を

JA庄内柿生産組織連絡協議会は7月22日、羽黒地域で女性生産者向けに庄内柿の仕上げ摘果講習会を開いた。約20人が参加し、大玉生産に向けた摘果作業のポイントを学んだ。栽培過程で幅広い作業をこなす女性の気づきやアイデアを持って、産地形成を進めていく目的で開かれた。講師を務めたアグリアドバイザーの齋藤裕志さんが、摘果作業の時期や夏季管理などを説明。摘果は7月中旬から8月中旬までの作業とし、着果数は20～30葉に1果を目安としながら小玉や傷果なども摘果すること、L玉以上になるよう生育ステージごとに基準となる長径を測定することなど、実践を交えて指導した。



ミョウガ・良好な鮮紅色の仕上がり自信

みょうが部会は7月27日、温海地域のJA集荷所でミョウガの目ぞろえ会が開き、部会員約40人が参加した。50センチパックの40個入と、10センチ以内のバラ入の2つの規格を設け、選別基準をA品・B品に区分けし出荷することとした。A品は独自の鮮紅基準表に基づき鮮紅75%以上とするなど出荷時の留意点を確認した。今年産の収穫時期は例年より1週間ほど早く、良好な鮮紅色に仕上がっている。同月20日より集荷作業が始まり、日量100トンから160トンを集荷。出始めの7月下旬は市場からの引き合いも強い。地元・関東の市場や生活クラブ生協へ20トンの出荷量を予定している。



長ネギ・排水対策を再確認

長ねぎ部会は7月10日、三川町で長ネギを栽培する露地とハウスの圃場9カ所を巡回し、生育状況や今後の栽培管理などを確認した。同行した園芸特産指導員は、6月下旬からの断続的な降雨により露地の土壌の排水状態が懸念されたが、各部会員らの適切な対策により冠水した圃場もなく、生育は順調に進んでいると総括。排水不良地では生育が停滞しやすいため排水対策の徹底が重要である他、土寄せは病害が発生しやすい高温時を避け、気温の低い時間帯に行うことが安定生産のポイントとした。今後は、排水対策や定期的な防除と生育に合わせた追肥が重要であることが呼び掛けられた。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

JA NEWS

掲載記事の詳細はホームページに掲載しております



7月大雨で管内各所に被害・吉村知事が視察

県内における7月下旬の記録的な大雨により、JA管内では約270haの農地に被害が生じた。これを受け、8月3日に吉村美栄子知事が庄内地方の被害状況視察の一環として、管内の庄内町千本杉や鶴岡市樺の大森農地、鶴岡市朝日地域の月山ワイン研究所の貯蔵庫を訪れ、説明を受けた。

先月28日昼すぎに沢の水が土砂とともにワイン貯蔵庫に流れ込み、施設の半分ほどの範囲が浸水した。これにより、出荷前のワイン瓶約8千本が水に浸かり、それらの多数が廃棄処分となる可能性がある。JAでは今後、行政と連携し被害各所の立て直しを検討していく。



スプレー菊・お盆需要期に向け夏秋品種の栽培強化

JA管内では、スプレー菊の収穫が最盛期を迎えている。花き部会菊・スプレー菊専門部では、2020年より夏秋品種の栽培を強化しており、品質と収量を意識した出荷体制を構築し、8月のお盆需要期に臨む。

今年産は、7月の日照量不足により一部の圃場で多湿による病気の発生が見受けられたが、その後は回復し、順調に生育が進んだ結果、現在の品質は良好だ。

また、JAでは前々日集荷で出荷量を事前に市場に伝える「前売り」の強化を図っている。年間出荷量70万本を目標に、地場をはじめ東北の市場をメインに、12月まで出荷が続く。



花き予冷库を新設、部会員の所得増大へ

JAは7月15日、庄内町のJA花き集出荷施設内に花き専用の予冷库を新設した。床面積約100平方メートルで、1000ケースが貯蔵できる。前々日集荷による市場への早期の数量報告、品質低下を防ぐ低温での運搬が可能となる。同JA花き部会からは、有利販売により所得の増大に繋がると期待を高めている。

従来までは、花きの集出荷は市場販売の前日だったが、市場から情報販売強化の要望を受け、部会員からも前々日集荷を行うための冷蔵施設の設置が求められていた。

夏季は予冷库内を10℃前後に保ち、出荷時には冷えた状態で運搬されるため傷みにくくなり、品質保持にも繋がる。同月29日には同集荷施設で神事を執り行った。



三川支所管内 いしかわ 石川 りかさん・五十嵐 栄子さん
すとう 須藤 梨紗さん



3人でも100人力!

「女性にもできることがある」という想いから、それまで女性消防団員がいなかった「三川町消防団」へ入団することになりました。1年を通して大きな活動がいくつかあり、イベント運営や防火パレードでの巡回、冬の出初式などに参加したりしています。他にも、女性消防団員として自ら応急手当指導員資格を取得し、消防団活動に活かしています。

消防団員として活動する上で、健康管理が一番。三川町消防団の女性消防団員は私たち3人ですが、100人分の力があると自信を持って地域の消防活動に貢献していきたいです。

女性消防団員、
募集中です!



大きくなっても仲の良い兄弟でいてね!

三川支所管内 さいとう あお 齋藤 逢生くん(3)・維人くん(1)

消防車とパトカーが大好きな逢生くんは、消防隊員や警察官になりきって遊んでいます。弟に絵本の読み聞かせをするなど、面倒見の良いお兄ちゃんです。

好き嫌いせず何でも食べる維人くんは、転んだりしても泣かない我慢強い男の子! 保育園では、天気の良い日ばかり陽気の中を先生とお散歩することが好きです。

2人でおいかけっこ
するよ!



あいと
キッズ

さくらんぼが
好物!

お兄ちゃんのことか
大好き!



オクラ・良品出荷へ意思統一

オクラ部会は7月17日、羽黒地域のJA集出荷加工施設でオクラの目ぞろえ会を開き、参加した部会員約20人が出荷規格や集荷体制などを確認した。園芸特産指導員がネット詰めサンプルを示し、市場需要の高いMサイズを中心に選別基準を説明。今後は市場の引き合いが強いA品同サイズの出荷に向け適期収穫を徹底し、取引先の地元や関東圏の市場を中心に10月上旬まで出荷していく予定だ。



パプリカ・実割れや日焼け等に留意

三川町パプリカ生産者協議会は7月21日、三川町でパプリカの目ぞろえ会を開き、参加した生産者11人がJA出荷時の等級・階級や果形・着色の基準などを確認した。同協議会は、栽培指導や出荷などで同JAと連携。留意点として、実割れの筋がある果実は除き、日焼けがなく自立できる果形が良いものを選別することとした。高温時は圃場での病害虫被害が懸念されるため防除の徹底が必須になるという。



組合員の拠り所となるJAを目指して

JAは7月15日、本所で生活事業推進大会を開いた。役員など約20人が出席し、各職員による決意表明と大会宣言が行われるなど生活事業の目標達成へ決意を固めた。今年度も総合JAとして部門間連携を密にし、組合員の拠り所となるJAを目指して生活事業の推進活動に取り組んでいくほか、ふれあい食材宅配の推進にも力を入れ、安心・安全・利便性を追求したシェア拡大を誓った。



温室メロン・1玉2^キ、糖度14度以上を目標に

温室メロン部会は7月3日、管内のハウスを巡回し、JA園芸特産指導員と共に5~6月に定植したハウス6カ所の生育状況や定植後の果実肥大に向けた栽培管理などを確認した。同指導員は、着果後の灌水、ハウス内の温度・湿度の調整管理を注意するよう呼び掛け、目標とする1玉約2^キ、糖度14度以上の確保に向けた栽培をアドバイス。今年産は、天候に恵まれ病害虫被害も少なく順調に生育が進んだ。



あいとスクール・土壌確認の重要性学ぶ

JAは7月17日、鶴岡市で女性大学「あいとスクール」家庭菜園コースの講座を開き、受講生8人がヤマガタデザインアグリ(株)が手掛ける化学肥料を最大限使用しない有機農業のハウスを視察した。担当者から同社が実践するミニトマト栽培の土壌作りや連作障害対策について、



畑の土壌の固さや水捌け具合を確認することや土の固いところまで根が伸びていく別品目を栽培することがアドバイスされた。

赤カブ・地域に合わせ適期の播種がカギ

赤かぶ部会は7月29日、羽黒支所分析センターで赤かぶの栽培講習会を開き、栽培手順や病害虫対策など、赤かぶの安定生産へ繋げるポイントを学んだ。早期の播種は病害虫被害が発生しやすいため、山間部は7月下旬、平坦部は8月下旬の適期に播種することとし、土壌処理



剤による予防防除を行うこととした。播種前の圃場の排水対策で排水路を設置し、湿害で生育に影響が出ないようにすることを確認した。

aïto | 10

「心の声」 あなたが思う 夏の風物詩は？

風鈴、西瓜、花火ですかね！花火は大掛かりな打ち上げ花火ではなく、線香花火かな。子どもの頃、親戚がおばあちゃんの家集まってわーわー言いながらの花火楽しかったですね。 S・Nさん【柳井】

お盆の仏壇と墓の飾りつけです。仏壇には茄子の牛と馬も飾ります。墓はコの字型に20基くらいあり、飾りつけが大変です。 K・Sさん【羽鳥】

軒先に南部風鈴を下げ愛用の団扇が出たら我が家の「夏到来」です。暑い日でも風鈴の音色が涼となり心地良い風物詩です。 M・Hさん【新余目】

私が思う夏の風物詩は、「庄内浜にしずむ夕日」です。日中のにぎやかさが夢のようだと感じるほど、夕方の海は静かで波の音しかしません。きれいな夕焼けをながめていると夏を感じます。 K・Yさん【朝日】

やっぱり祭りですね。太鼓の音がすると心がワクワク、体がソワソワします。気持ち子ども時代に戻ります。 S・Mさん【新潟県】

9月号投稿のテーマ

「夏の終わりをを感じる時は？」

【応募方法】 下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。

①テーマの答え(掲載致します)②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など

【あて先】 JA庄内たがわ広域振興係

〒999-7611

鶴岡市上藤島字島中下3-1

E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp

【しめきり】 令和2年8月31日 当日消印有効
※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

ソレイユルバン
ロザートフリザンテ 2名様



わたなべ えむ
渡部 愛夢さん(21)

朝日支所管内

生まれ育った地元が過ごしやすく、大好きです。幼い頃からジグソーパズルが好きで、今は1000ピースに挑戦中です。また、小学生から始めたバレーボールを現在も続けており、メンバーに選ばれるよう頑張っています。



aito Aug. 2020
No.305

〒999-7611

〒999-7611 鶴岡市上藤島字島中下3-1 TEL.0235-64-3000

E-mail tagawa@ja-shonai.or.jp

TEL.0235-64-3000



ホームページ



Twitter



Instagram